

有田 西騎 個展

ARITA Niki solo exhibition



漂うrawの指先

Drifting raw fingertips

KUNST ARZT では、
有田西騎の個展を開催します。
有田西騎は、視覚を通しての認識、記憶
に揺さぶりをかけるアーティストです。
本銀箔に刷った記憶のイメージの上から
酸化剤を塗りつけることで、銀箔とイン
クが変色し、刻々と変化していく様子を
視覚化しています。
本展では、「飾らない、生の状態をキー
ワードに技法に捉われない表現を模索す
る場とする」（作家のことば）構想で
す。

（KUNST ARZT 岡本光博）



意識外の光景1

2024

木製パネルに水性インク、本銀箔

723×1030mm

経歴

2002 年 広島県生まれ

2025 年 京都精華大学デザイン学部グラフィックデザインコース卒業

現在 愛知県立芸術大学大学院 美術研究科博士前期課程 油画・版画領域 在籍

主なグループ展

2022 「Passing」 gallery Kara-S

2024 「Exhibition COMMA」 MEDIA SHOP gallery

2025 「京都精華大学卒業制作展 2025」 京都精華大学

2025 「FINE ART FAIR 2025」 名古屋市民ギャラリー矢田

2025 「メソッドの考察」 愛知県立芸術大学 次元ギャラリー

2025 「drawing communication 2025」 沖縄県立芸術大学

2025 「愛知県立芸術大学大学院博士前期課程油画・版画領域 研究発表展」 愛知県立芸術大学

2025 「光射す器 / 種蔵の影」 種蔵集落内板倉・岐阜

2026 年 1 月 20 日（火）から 25 日（日）

12:00 から 18:00

会 場：KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

漂うrawの指先
Drifting raw fingertips

アーティストステートメント

一瞬一瞬の理解では覚束ないことも、時間が経ち経験として沈殿することで新たな発見が生まれる。人はいくつもの層を介して過去の出来事を見つめ直すが、その認識もまた変化を続け、やがては薄れていく。こうした認知の動きを固定するという逆説を制作の中心としている。



発酵した植物2 2024
いずみ紙に水性インク、本銀箔、キッチンハイター
100×148mm



欠如したパターン1 2024
ハーネミュレ紙に水性インク 本銀箔
750×600mm

